

たけやぶ

号外 2017年3月29日 自主学童保育ささのはクラブ

ドッジボール大会報告

高学年銀メダル 低学年銅メダル

3月28日(火)第14回学童保育ドッジボール大会で、ささのはクラブの高学年は銀メダル、低学年は3年ぶりの入賞で銅メダルでした。どの学童保育も練習を積んできただけあって、実力は伯仲でした。でもそれぞれに学年構成は違うので、ささのはの低学年の人数は少なく、1年生もたくさんの試合に出て、3年生が多いチームと戦いました。勝っても負けても1~2人の差で、応援している方から言うと「あそこで、強い人に勝負を挑まなければよかったのに」とか思いましたが、大活躍の3年生達は、今年こそ中心になって活躍できる時が巡ってきたというように3年としての役割を自覚して、必死に力を振り絞っていたのだと思います。2年生も3年に負けずに取り投げたり投げたりする人、勇気を出して強いボールを取ったり、ゴロのボールに飛びついて取ったりできるようになり、1年生も思いっきりパスボールを投げたり、当たらないように逃げ、チームワークの中でそれぞれの役割を果たしている姿は、普段の毎日が生きている姿を見られる大会だと思いました。メダルを見ながら、「オレ達、ささのはに入って初めてメダルもらった」という言葉に実感がこもっていました。一生懸命練習したからね。良かったね。



高学年は、秋からは低学年を引っ張りながら5年生が本当に熱心に練習をし、2月ごろからは6年生が中心になって練習して来ました。なかなかメンバーがそろわないなど苦労したこともあったけど、ドッジボールへの気持ちの一人一人の違を超えて、今日のドッジボール大会で、チームワークを持ってできたことは1年生からずっと一緒に過ごしてきた繋がりや強さだと思いました。相手チームの人数に合わせて、メンバーを削らなければならない時、6年の男子たちは「6年の女子は絶対入れる」と、みんなの一致した意見だったのは感心しました。女子たちは一

人一人は上手いのに、男子との練習では活躍できないもどかしさを感じ続けてきて、でも下級生たちの女子には強くなってほしいと、いつも女子たちを集めてひたすら練習をしてきた人達です。そんな姿やそんな気持ちをわかっていた6年生なのだと思います。今年の高学年の試合は、他の学童の人数も似通っていて、実力差も少なくなっていて、試合をやり始めて、それをとても感じたようです。高学年が4年までしかない「わいわい」との対戦では、余裕で勝てるつもりが、「ドッジボールを習っているらしい」超強い女子がいて、1セット目は勝ったけど、2セット目に負けた時は「やばいぞ、落ち着いて行こう！」とさすがに本気さが見られました。練習試合をして何セットか負けた花の台とも僅差で競り合っ、見ている方はドキドキでしたが、結構余裕の態度だったり、けん玉大会でも競り合っているオカリナの大きなメンバーには負けてしまいましたが、フルセットを勝ち上がり銀メダルを取って、ほっとしたような6年生達でした。「『わいわい』のあの超強い女子と友達になったよ!!!」という女子たちはさすがですね。



ドッジボール大会を経験すると、来年の自分たちの目指すものが見えるのかもしれない。あんな3年生に、あんな6年生になりたい。毎日いっしょに頑張ってきたみんなにとっては身近な目標があるっていいなと思います。おめでとう!!! たくさんの方の応援ありがとうございました。ささのはでの個性豊かな6年らしい不思議な「カンバイ」の音頭で始めた打ち上げはとっても盛り上がりました。